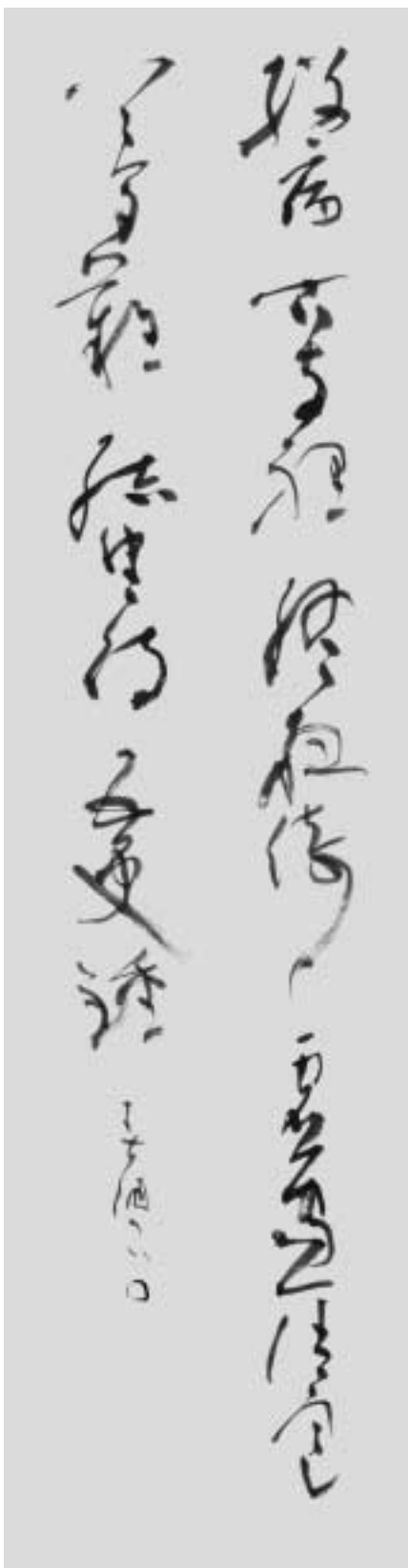


6月25日正午必着

明石春浦先生書



投宿古寺裡 終夜倚虛窗 清寒夢難結 坐待五更鐘 (良寛)
としゆくこじらのうち しゆうやよきよらによるん せいかなゆめむすびがたたく ざしてまちしうのかね

菅井松雲先生書



峰雲暮起 景風晨扇 (魏徵)
ほううんくれにおこり けいふうあしたにあおぐ

夕暮には雲の峰が現われ、朝早くには南風が吹く。

重陪駕至太液池 (胡廣)
 玉砌臨無地 飛甍上倚天
 微風斜舞燕 高柳沸鳴蟬
 芳草茸茸細 池荷箇箇員
 孰知丹禁裏 別有好林泉

蝴蝶每因飛處見
 牡丹多是折來看 (張昱)

蝴蝶は毎に飛ぶ処に因つて見
 牡丹は多く是折り来つて看る

重ねて駕に陪して太液池に至る
 玉砌地無きに臨み 飛甍上天に倚る
 微風舞燕斜めに 高柳鳴蟬沸く
 芳草茸茸細やかに 池荷箇箇員し
 孰か知る丹禁の裏 別上好林泉有り

胡廣

紅藥紫藤

紅藥紫藤

紅い芍薬と、紫色の藤の花。

条幅部創作課題

三種の詩文から一種を選択して出品のこと。

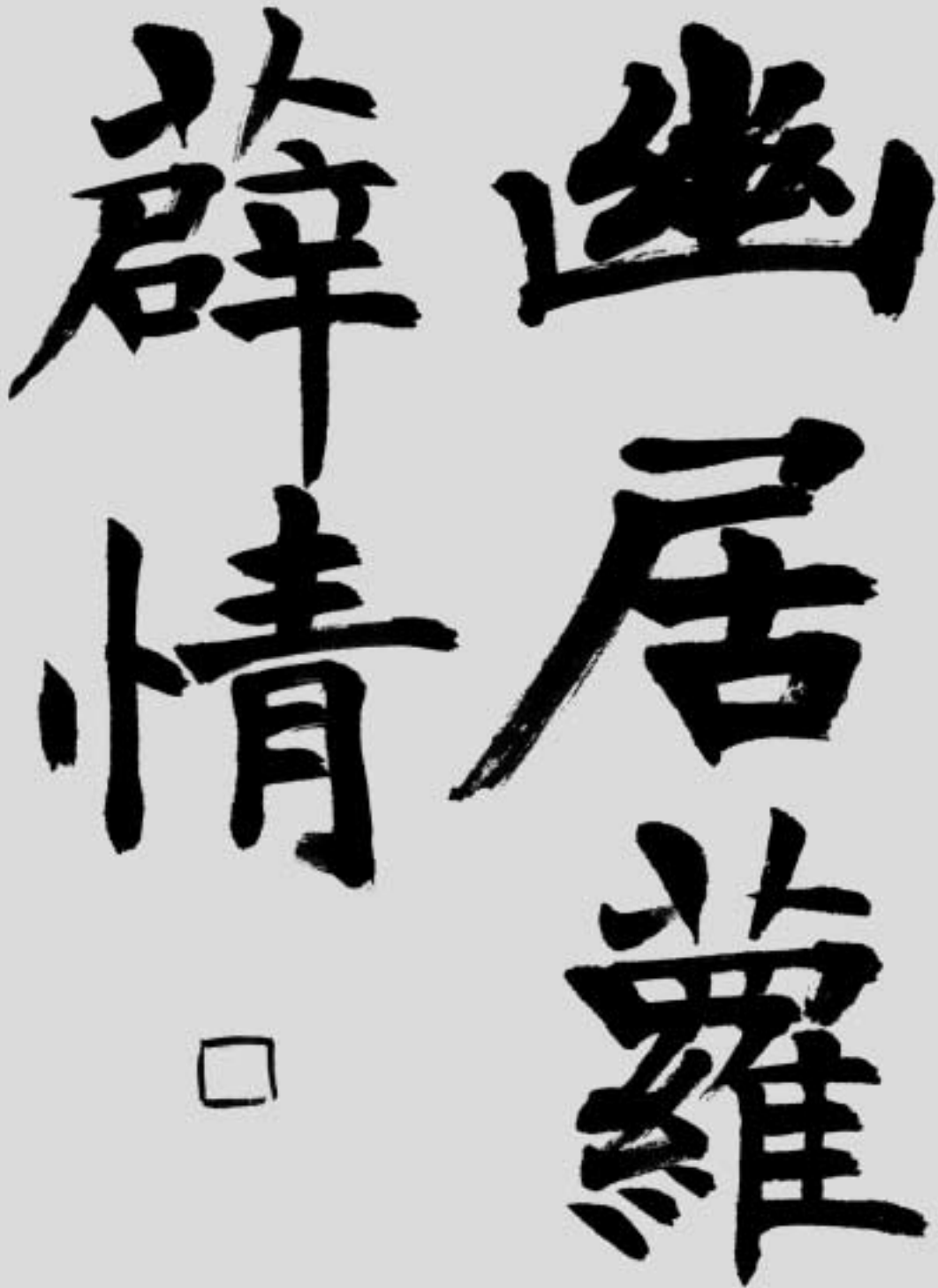
夏の夜は まだ宵ながら 明けぬるを 雲のいづこに 月宿るらむ (清原深養父)



明石幸子書

半紙部規定課題A

6月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

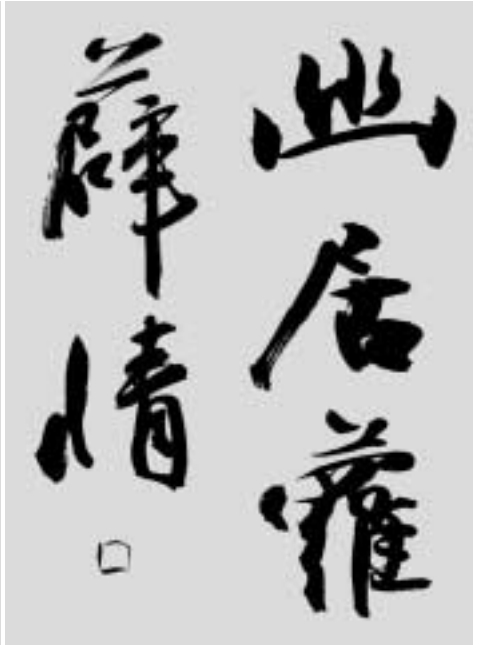
明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

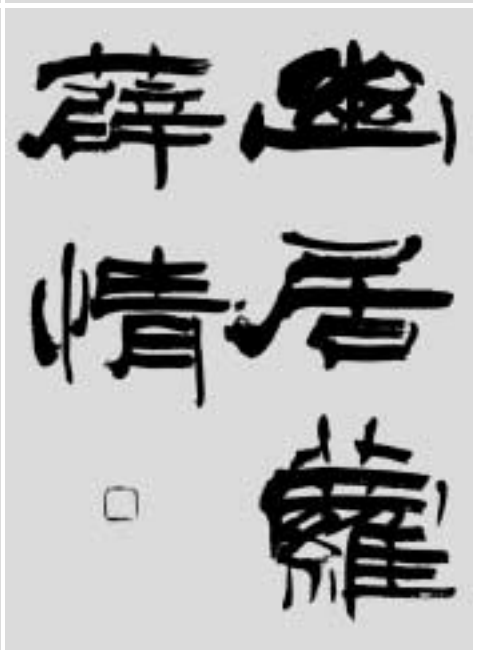
半紙部規定課題B

6月25日正午必着

行書

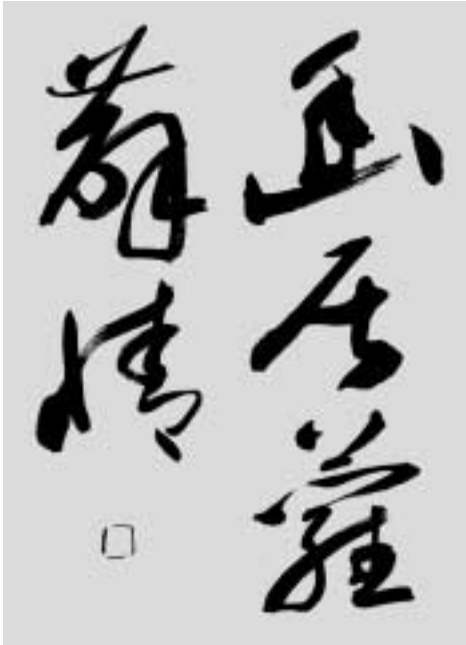


隸書



明石春浦先生書

草書



行草書



おくぶかい住居、山中のつたかずらをいとおしむそのころ 高雅に隠遁されるが、
 その徳によって綱紀秩序は正しく行われる
 秋の鷹は下りたつて、鳥どもは飛び散じ 春の草は生い茂り、人は閑静にすごす
 山気をかきわけて田舎の寺に帰り 官印をしまつて山中の城を出る
 今やここ新安郡は 君ゆえに水がいつそう清らかなことだ

題三元録事所居 劉長卿

幽居蘿薜情

高臥紀綱行

鳥散秋鷹下

人閑春草生

冒嵐歸野寺

收印出山城

今日新安郡

因君水更清

元録事げんろくじが所居しよきよに題す

劉長卿

幽居ゆうきよして 蘿薜らへきの情じようあり

高臥こうがして 紀綱きこう行おこなわる

鳥散とりさんじて 秋鷹あきとう下り

人閑ひとかんにして 春草しゆんそう生うず

嵐らんを冒おかして 野寺やじに帰かへり

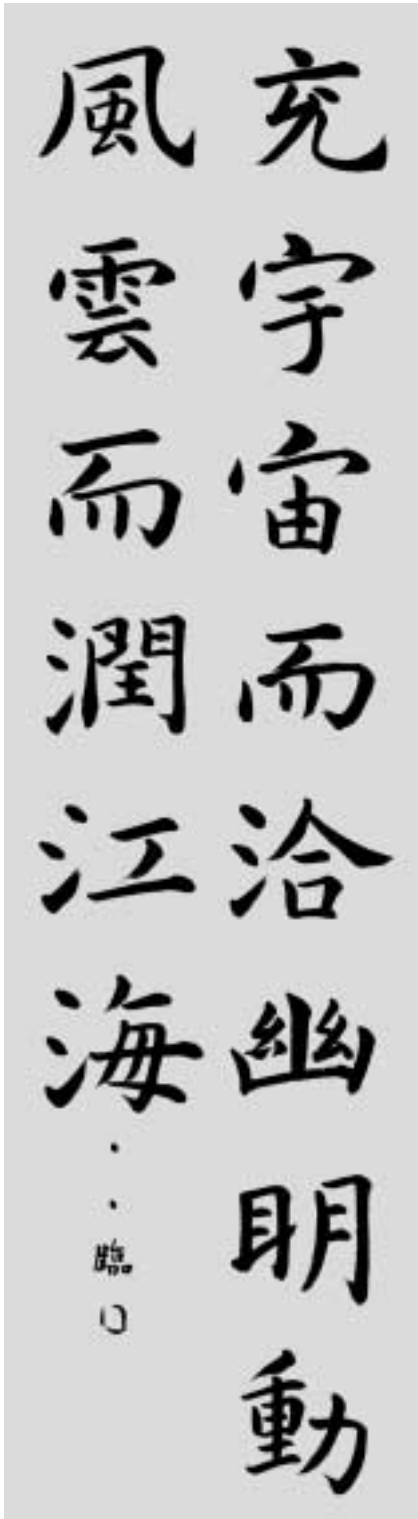
印いんを収おさめて 山城さんじようを出いず

今日こんにち 新安郡しんあんぐん

君きみに因よつて 水更みづさらに清まし



(刪書定) 樂、贊易道以測精微、修春秋以正褒貶、故能使紫微降光、丹書表瑞、濟濟焉、洋洋焉、充宇宙而洽幽明、動風雲而潤江海、斯皆紀乎 (竹素)
 (書を刪して) 樂(を定む) 易道に贊して以て精微を測り、春秋を修して以て褒貶を正す。故に能く紫微をして光を降さしめ、丹書をして瑞を表わさ
 使む。濟濟たり焉、洋洋たり焉。宇宙を充して幽明を治し、風雲を動かして江海を潤す。斯れ皆な(竹素に)紀し、



唐虞世南・孔子廟堂碑

虞世南（陳・永定二年・五五八年～唐・貞觀十二年・六三八年）浙江省餘姚の人で、字名は伯施という。南北朝時代の陳に仕え、陳が滅んで統一国家の隋に用いられ、後に唐の太宗を迎えられた。

隋から唐にかけては南北朝の統一によって文化の融合が進み、書においては南朝の秀潤な伝統的書風が主流となった。ことに唐の太宗は、文化政策に力を注ぎ、自らも王羲之を崇拜し書を愛好した。王羲之の七代の孫・智永に学んだといわれる虞世南は、欧陽詢・褚遂良とともに羲之の伝統を継承する人物として太宗に重く用いられた。（初唐の三大家）

孔子廟堂碑は、太宗が長安の孔子廟を再建したときに、虞世南に撰書させて建碑したものである。建てられた年月は不明であるが、武徳九年（六二八）から貞観七年（六三三）の間とされている。虞世南の書としては「左脚帖」「汝南公主墓誌」「積時帖」「破邪論」などがあげられるが、今日確実に虞世南のものとされているのは孔子廟堂碑のみである。

孔子廟堂碑は、欧陽詢の「九成宮醴泉銘」とともに初唐の楷書の最高峰とされ、今日までそのゆるぎない地位を占めている。欧書の峻拔さに対し、虞書は整齊さの中に筆力を内蔵させ、おおらかさや明るさを醸し出している。懐の広い構えや、接点の離れた点画など、細やかな観察が臨書の第一歩である。

（春濤）

6月25日正午必着

教育部毛筆



けい

さい

中学一年

雨宮春聲先生書



にゅう

ばい

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



きゅう
給

すい
水

小学五年

藤井良泰先生書



じっ
実

けん
験

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

6月25日正午必着



あま

ど

小学三年

細谷春誠先生書



た

うえ

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

つ ゆ 小学一年・幼年



てん き

小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

藤田幸春先生書

教育部硬筆

ペン字部

池の中に石を投げる
とはもんが広がった

小学五年

七色の光を放つに
じのふん水を見た

小学六年

光る風草の波間をかけ
ぬけるわたしが見える

中学

時は去りゆくとも二人の想
いは変わらないうつまでも

一般(級位)

天つ風雲の通ひ路 吹きとちよをとめの姿 しばとらめむ
倍正遍昭

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

| | |
|---|---|
| を | き |
| | い |
| さ | ろ |
| し | の |
| ま | |
| し | か |
| た | さ |

幼年

| | |
|---|---|
| あ | き |
| じ | れ |
| さ | い |
| い | に |
| の | さ |
| 花 | い |
| | た |

小学一年

| | |
|---|---|
| ふ | 大 |
| つ | つ |
| て | ぶ |
| き | の |
| ま | |
| し | 雨 |
| た | が |

小学二年

| | |
|---|---|
| で | 雨 |
| る | あ |
| 七 | が |
| 色 | り |
| の | の |
| に | 空 |
| じ | に |

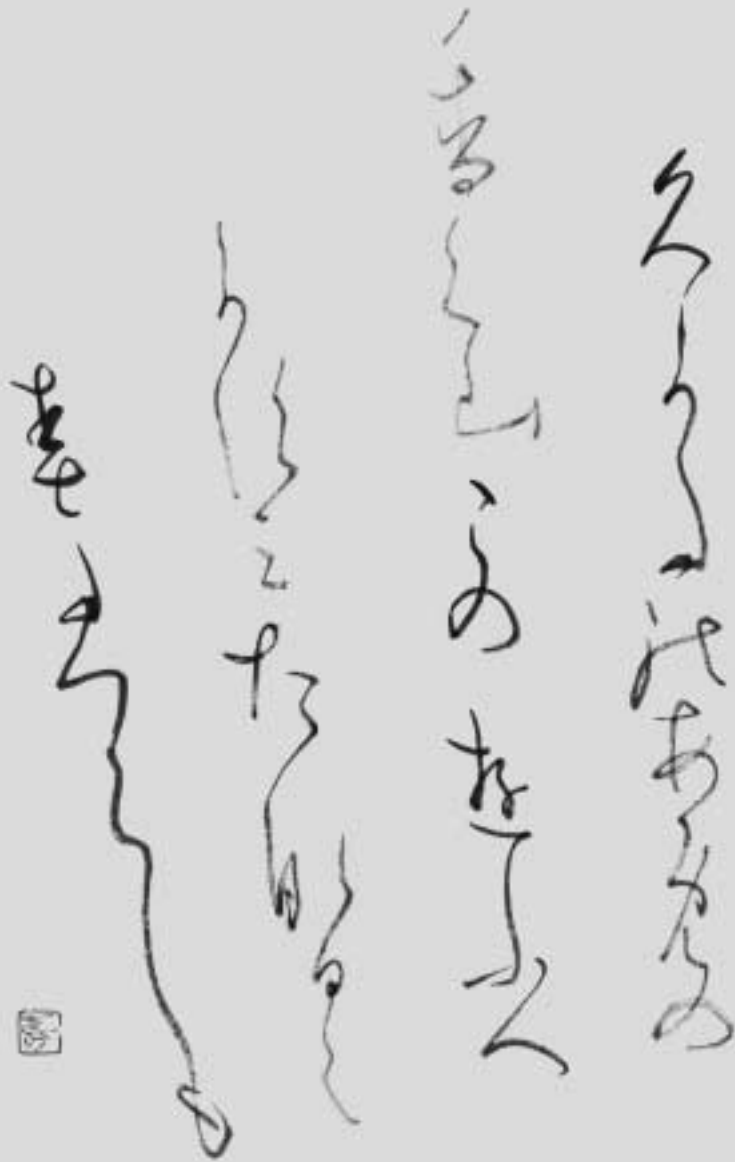
小学三年

| | |
|---|---|
| る | 六 |
| あ | 月 |
| じ | の |
| さ | 長 |
| い | 雨 |
| の | に |
| 花 | ぬ |
| | れ |

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



久^{ひさ}かたの^{可多能}あめの^免香^か久^く山^{やま}この^{可遊}ゆふ^べべか^{可須三}すみ^那た^日な^久び^くく春^{はる}た^多つ^ららし^もも (万葉集・柿本人麿)

岩本景楓先生書